

■売りと買い■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 463 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

463 目次

1. ご挨拶とお誘い
2. まつむら塾より
3. ブログより：売りと買い
4. 今週の動向＋今後の予定
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. ご挨拶とお誘い

先週の報告とご挨拶

先週は、寒さに加えて雨がよく降る週でした。

左ひざも順調に回復してほぼ不自由なく歩けるようになったので、そろそろバイクの復活も目論んでいるんですが、さすがにこの寒さと雨の中出かける気はしませんね。

一方で、出かけられない分、独り暮らしの環境整備に余念がなく、自炊や栄養管理に夢中です。

バナナの糖分を活用したくて、野菜との組み合わせを試すうち、ニンジンの甘さに気付き、ニンジン＋バナナ＋牛乳のノンシュガージュースに辿り着きました。

鶏肉にニンニクとショウガを加えて玄米で炊き込んだ「シンガポール風玄米チキンライス」も絶妙ですし、先日は、「明太イワシ」を安売りしてたので、これも炊き込んだじゃいました。

ちなみに、明太子とは「明太の子」のことで、「明太（ミョンタ）」とは「スケトウダラの韓国名」だと知りビックリ。

・

さて今週も、まつむら塾や笑恵館の他は、お誘いできるイベントの予定は有りません。

うるう日の 29 日以降は、外出のアポが有りませんので、「ど素人向け・複式簿記入門講座」や「よろず相談会」など、気軽にご相談ください。

それでは今週も、どうぞよろしく願いいたします。

.....

2. まつむら塾より

現在開催中の講座は下記の通り（1 か月分）。

名称	日時・内容	場所	受講料
土曜ガイドダンス講座	毎週土曜日 10-17 時	笑恵館	無料
随時ガイドダンス講座	随時開催、受付中	応相談	無料
実現学（火朝教室）	02/27 (火)10-12 時・B13.自分とみんな 03/05 (火)17-19 時・B14.見かけと中身 03/12 (火)10-12 時・B15.過去と未来 03/19 (火)15-17 時・B31.地域と市場	笑恵館	3,300 円/回
実現学（水夜教室）	03/06 (水)22-24 時・B32.地域と資源 03/13 (水)22-24 時・B33.地域と格差 03/20 (水)20-22 時・B34 地域と情報 03/27 (水)20-22 時・B35.地域と世界	zoom	3,300 円/回

その他、希望者さえいれば、全講座新規開講いたしますので、気軽にお問い合わせください。

■地主の学校・販売中

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

3. ブログより：売りと買い

自分のことは「なぜ (why) といかに (how)」、世界のことは「いつ (when)、どこ (where)、だれ (who)」でできていて、それらを考え、説明するために「なに (what)」という言葉がある…というのが、まつむら塾の発想だ。

通常の講義では、「時間 (when)・空間 (where)・人間 (who)」を使って世界を見ながら、それらの「why と how」を通して自分を見つめることが主題となるのだが、先日の講義はこれらが見事に逆転したので、今日はその話に挑みたい。

全20回の実現学は、起業・交流・地域・創業の4編（5回ずつ）で構成されるが、第11回はその講義は地域編の第1回「地域と市場」という題名だった。

ここで言う「地域」とは、自分が関わる「世界の一部分」のこと。

他人事ではなく、自分自身が当事者として身を置く世界のことを、「地域」として自覚することから、この議論はスタートする。

そんな地域編は「市場」という観点から始まるが、残りの4回は「資源、格差、情報、世界」と続いていく。

.

さて、「市場」を辞書で引くと「毎日または一定の日に商人が集まって商品を売買する所」とある。

もちろんこれは概念的な説明で、実際には「いちば、しじょう、マーケット・・・」など、様々な状況や意味を持つが、その基本となる概念が「売りと買い」であることは明白だ。

そこでまず、「市場」とは何か (what) を「売り&買い」と定義して、これを「人間・空間・時間」に展開した。人間的市場を「売り手&買い手」、空間的市場を「売り物&買い物」、そして時間的市場を「売り時&買い時」・・・と言い換えた。

ちなみに、ここで言う空間とは「世界の空間的要素」を指し、内側から見れば空間だが、外から見れば物体のこと。

なので、土地や建物などの空間も含めて「物」と呼ぶことにした。

すでにお分かりの通り、市場を示す「売りと買い」に、人間を指す「手」、空間を指す「物」そして時間を指す「時」を加えただけで、世界を構成する3要素（人空時）が誰の眼にも浮かび上がってくることに、僕は胸を弾ませた。

まず、「売り手と買い手」は市場における人間関係を見事に表現しており、その方向性が「売り手市場と買い手市場」に意味を持たせる。

会社や店舗の主体者は、客に対して売り手となるが、従業員に対して買い手となる。

つまり自分自身が売り手となるのは、事業主体者になるか従業員として雇われるかのいずれかで、サラリーマン化が事業者の現象を招いていることを如実に示している。

一方、自分自身が買い手になるのは、顧客になるか雇用主になるかのいずれかなのだから、消費社会の進行が、雇用力の衰退を招くのもやむを得ない。

このように、市場に関する諸問題が人間的側面によるものなら、その解決策もまた人間的な側面で考えるべきだと思う。

世界を3つの側面に分けて考えるのは、区別すべき概念の絡み合いや混同を防ぎ解きほぐすためだ。

「売り物と買い物」、「売り時と買い時」についても、同様に考察する。

「売り物にならない」とか、「良い買い物をした」という言葉の意味を手掛かりに、「市場」の空間的側面を考察したり、「売り時」や「買い時」という言葉から連想される現実を見渡すことで、「市場」の時間的側面を考察する。

こうして、「市場」に関する3つの側面をおさらいすることで、自分の思考が絡み合い混同している現状に、初めて気付くことになる。

次にやることは、自分の頭の中にある「解きほぐすべき概念」をとりだして、それを「人間・空間・時間」の3つに分解する作業だ。

そこで登場するのが、自分自身の「why と how」という便利な道具。

これを「人間用・空間用・時間用」に分解すれば、世界を解きほぐす「自分専用の道具」にすることができる。

まずはこの話を、先日のオンライン受講者 SHさんと TAさんに届けたい。

講義では、こんなに整然と説明できなかったが、今だから書けたのだと思う。

そして、これからまつむら塾を受講する人に。

また一段スッキリした僕自身松村節に、乞うご期待と伝えたい。

今日はここまで。

続きは、まつむら塾の「実現学教室」若しくは「無料ガイダンス」で。

<https://nanoni.co.jp/20240224-2/>

4. 今週の動向+今後の予定（下記以外はまつむら塾受付中）

【凡例】◎：要連絡、○：要申込、×：一般参加不可

■今週の動向

（火）02/27 笑恵館作業日

講義○：10-12時 まつむら塾実現学_火朝 B13（笑恵館）

会議○：20-21時 LR 定例会議_4 火（zoom）

（水）02/28 笑恵館作業日

診療×：09-10時 リハビリ（関東中央病院）

会議○：19-22時 八島花文化財団評議員会（京島）

（木）02/29 笑恵館作業日

（金）03/01 笑恵館作業日

（土）03/02 笑恵館作業日

交流◎：09-17時 よろず相談会（笑恵館）

（日）03/03 休業日

（月）03/04 笑恵館作業日

■今後の予定

03/09 交流◎：10-17時 よろず相談会_土（笑恵館）

03/10 会議○：20-21時 100SMILES_2日（zoom）

03/10 会議○：21-22時 八島花文化財団事務局 M_2日（zoom）

03/12 会議○：20-21時 LR 定例会議_2 火（zoom）

03/14 会議◎：16-17時 笑恵館キッチン会議①（笑恵館）

03/14 会議◎：17-19時 笑恵館運営会議_2 木（笑恵館）

03/16 交流○：18-20時 住人食事会_3 土（笑恵館）

03/21 交流◎：13-18時 なるほどデイ_3 木（笑恵館）

03/21 交流◎：18-20時 持ち寄り食事会_3 木（笑恵館）

03/21 会議○：18-19時 OBK 会議（おおがいさんち）

03/24 交流○：10-14時 名栗の森 OSC 例会_4 日（飯能）

03/26 会議○：20-21時 LR 定例会議_4 火（zoom）

03/28 交流◎：10-12時 笑恵館 de シネマ_4 木朝（笑恵館）

03/28 会議◎：16-17時 笑恵館キッチン会議②（笑恵館）

03/28 会議◎：17-19時 笑恵館運営会議_4 木（笑恵館）

03/28 交流◎：19-21時 笑恵館 de シネマ_4 木夜（笑恵館）

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅：

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

株式会社なのに（取締役・平社員）

<http://nanoni.co.jp/>

一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

.....

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事などの情報をほぼ毎週お届けします。

参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>